

女子戦評

大会名 第72回全日本バレーボール高等学校選手権大会 青森県代表決定戦

日時 令和元年11月9日～10日

会場 カクヒログループスタジアム

女子決勝（11月10日）

青森西高等学校 3 $\left\{ \begin{array}{l} 25-10 \\ 25-21 \\ 25-7 \end{array} \right\}$ 0 三沢商業高等学校

ファーストレフリー 工藤 治

セカンドレフリー 岡村 尚文

3年連続16回目の選手権出場を目指す青森西高等学校（以下青西）と15年ぶり3回目の出場を目指す三沢商業高等学校（以下三商）の対戦。

第1セット、青西は相馬のスパイクで先制。その後青西はリベロ柳瀬の粘り強いレシーブと中塩、相馬のスパイクで加点し1対6で三商が一回目のタイムアウト。タイムアウト後も中塩のブロック、毛藤のスパイクや堀川のブロックで加点し、2対11で三商が二回目のタイムアウト。三商は濱澤や根岸のスパイクで応戦するが、最後は中塩がブロックを決め第1セットを25対10で先取。

第2セット、青西は渡邊のスパイクで先制。対する三商は大野スパイクやブロックで食らいつくも10対7で三商が一回目のタイムアウト。その後青西は相馬のサーブが効果的に決まり14対7で三商二回目のタイムアウト。三商は大野、藤澤、根岸のスパイクで応戦し、終盤に点差を縮めるも、最後は青西毛藤のスパイクが決まり25対21で青西が第2セットを取る。

第3セット、青西は堀川のスパイクやサーブ、三商は濱澤、大野のスパイクで加点するが徐々に青西がリードを広げ7対3で三商がタイムアウト。青西は渡邊の速攻やブロックで着実に点差を広げ三商に追い上げを許さず、12対5で三商二回目のタイムアウト。その後も終始青西ペースで試合が進み、25対7で第3セットを取り、青西が3年連続16回目の選手権大会出場を決めた。

戦評者 小山内 忍